



【今週の暗唱聖句】 Iヨハネ 4 : 9

神はそのひとり子を世に遣わし、その方によって
私たちに、いのちを得させてくださいました。
ここに、神の愛が私たちに示されたのです。

●これから数週間に亘り、世の中
挙げて一人の人の誕生日をお祝い
します。クリスマスの主人公であ
る「クリス」こと、キリストのこ
とです。それにしても、なぜこの
人のことで世界中大騒ぎするの
でしょうか？それはこの人物が、

- 1) ただの人ではなく神の子であ
る、と世界中大勢の人々に信
じられているということ、
- 2) この神の子である方が十字架
に磔にされ、死んで、更に復
活したと信じられていること、
- 3) この方を信じて罪の赦しと新
たな喜びを体験した人たちが、
二千年間、神の子、イエ
ス・キリストのことを話すの
をやめなかったからです。

●イエスのなさったことをさらに
よく理解するために、次のミニ

メッセージをお聞き下さい。

芥川龍之介に「蜘蛛の糸」という
物語がある。極悪人のカンダタが
地獄で苦しんでいるのを見たお釈
迦様が、蜘蛛を助けたカンダタの
善行を思いだし、天国から蜘蛛の
糸をたらして、カンダタを救おう
とした話しである。しかし、聖書
の神は、罪人をお救いになるのに
手を汚さず天国から蜘蛛の糸を垂
らして救うようなことはなさなら
ない。ご自身で天から降りてこら
れ、人となり、人間と同じ境遇を
味わい、さらに十字架の苦しみを
甘受するまでへりくだる中で、罪
人の救いを告げ知らされた。聖書
の神は、私たちに寄り添って愛を
示される。(CS成長センター成長127号p164より)

●あなたはキリストを通して示さ
れた神の愛を受け入れますか？■



【今週の英語】 G.F. Handel's "Hallelujah Chorus" from oratorio "Messiah"

**HALLELUJAH: FOR THE LORD GOD OMNIPOTENT
REIGNETH. THE KINGDOM OF THIS WORLD HAS
BECOME THE KINGDOM OF OUR LORD, AND OF HIS
CHRIST; AND HE SHALL REIGN FOR EVER AND EVER.
KING OF KINGS, AND LORD OF LORDS. HALLELUJAH!**

ハレルヤ(主を賛美せよ)。全能の主なる神は治めれます。この世の国は、私たちの主と、そのキリストのものとなりました。主は世々限りなく治めつづけられます。王の王、主の主。ハレルヤ!

【先週のメッセージ】 「全知全能の神が共におられる」

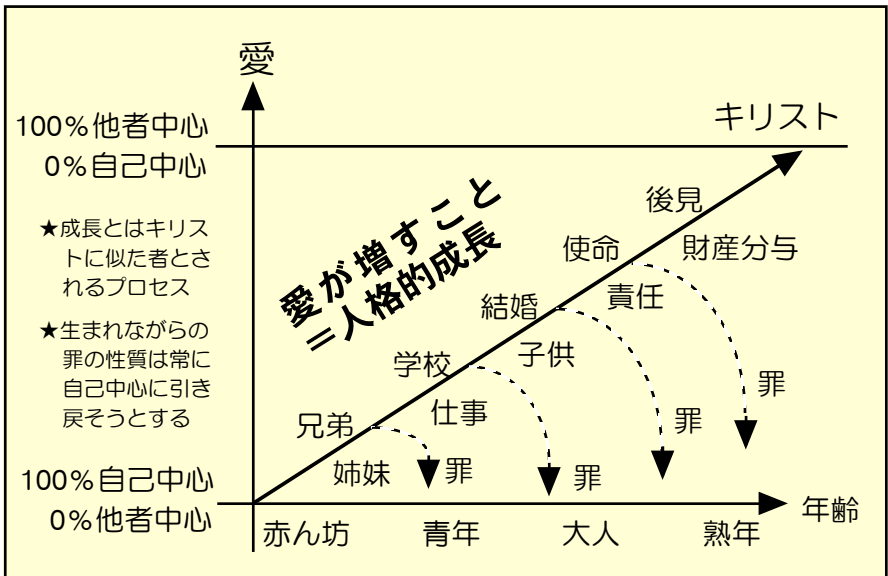
ルカ 1:26~38、詩篇139篇

- 心の内側、恥ずべき自分の姿、それも全て神に知られている。神はそれらの罪と恥をイエスの十字架によって覆ってくださる。
- 誰からも喜ばれていないと感じたり、価値がないと言われたりしても神は私を高価で尊いと言って下さるので気落ちしない。
- 目の前の問題が大き過ぎるよう

もしそうであるなら・・・

- に感じて神は私たちが耐える事ができない試練には会わないように状況を整えてくださっている。
- 神は私たちにそれぞれの嗜好、能力、賜物を与え、さらに使命を与えて人生を意義あるとされる。
- 無用な心配をせず、神の国とその義を求めて行きましょう。必要は全て与えられるからです。■

【成長の目的／目標はキリスト、「愛の人」になること】



- 神の本質は「与える愛」ですが、御自身に似せて造られた人間も、御自身の性質を受け継ぐ者となるよう願っておられます。しかし愛は学ばれ、身につけて行かなければならない能力なのです。愛が増すことは人格の成長そのものです。
- 赤ちゃんはどんなに可愛くても究極の自己中心ですが、兄弟が生まれ、学校に行き、仕事を始め、結婚をし、子供が生まれ、責任が重くなり、最後にすべてを人に譲るというプロセスの中で自己中心がそぎ落とされて行くはずなのです。

- 罪の本質は自己中心ですが、祖先から引き継がれ、生まれながら持っている罪の性質は常に私たちの成長を妨げようとします。私たちが罪を悔改め、もはや自己中心であることをやめ、神中心となる時、再び、人格的成長の路線に戻ることができるのです。
- 最終目的は十字架の上で人々のために自分のいのちを喜んで差し出されたキリストに似た者となることです。自己中心、罪との戦いの一回一回がキリストに似た者とされる訓練の場なのです。■